



新しい気づきと出会いが

謹賀新年

夢風船

編集・発行

八代人権擁護委員協議会

〒866-0863

八代市西松戸町11番11号

TEL.0965-32-2654

浜名湖の初日の出

八代市第3・4地域包括支援センターさんと共催で権利擁護の研修会を行った際のことです。七月末の酷暑にもかかわらず多くの参加がありました。各所からおいででのケアマネージャーさんたちが実に楽しそうに研修に臨んでおられるのです。久しぶりの多人数の対面であったからでしょう。

ひとつの悩みがあって、それを話



八代協議会長 小山 一廣

新年あけましておめでとうございます。気分を新たに今年も頑張りたいと思います。

さて、昨年の五月でしたか新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い行動の制限が大幅に緩和されました。つまり活発な啓発活動が戻ってきたのです。

このことについて印象深いことがありました。

す、聞く、共感して考える、こういったことが救いになるのはすぐ近くに人がいるからこそのことであって、だから対面の研修会が楽しかったのだと気づきました。

啓発活動のなかで新しく気づくこと、出会うことがあるというのは何よりのことにちがいありません。

令和六年が始まります。今年も啓発活動を通じて、新しい気づきと出会いがあればいいなと思っております。



熊本地方法務局

八代支局長 堤 紀子

八代人権擁護委員協議会の皆様には健やかなお正月をお迎えのことと存じます。

昨年は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、それまで制限されていた対面型の人権啓発活動が再開さ

れ、大変活発に活動していただき、誠にありがとうございます。

世間では、こどもが被害者となる事案が後を絶たず、インターネット上での誹謗中傷や差別を助長するような情報の発信が相次ぎ、パワハラ・セクハラ事案が毎日のように報道され、非常に残念でなりません。

一方で、当協議会の活動を顧みまずと、こども委員会によるスマホ携帯教室を含む人権教室や人権作文コンテストの実施、高齢者障がい者委員会による民生委員・児童委員や包括支援センターとの合同研修会、男女共同参画委員会による東陽町文化の祭典での人権啓発劇や企業研修等に加え、菊池恵楓園への視察研修や南部・北部委員研修会での研さんも意欲的に実施され、その成果が十分に感じられるところであり、改めて皆様の熱意に感謝申し上げます。

委員の皆様におかれましては、この一年も人権啓発活動等に御協力いただき、なお一層の成果を上げていただきますようお願いいたします。

最後に、今年一年の皆様の御健康と御多幸を祈念しまして新年のあいさつとさせていただきます。



熊本地方事務局

八代支局長補佐 齊藤 恵

新年あけましておめでとうございます。令和6年もいよいよスタートします。

ここ数年、コロナ禍の影響で思うように活動ができない時期がありましたが、2023年5月からは、徐々に以前の積極的な「啓発活動」及び「人権相談」へのシフトができたように思えます。反面、実費弁償金算が厳しいこともあり、委員の皆様方には大変ご迷惑をお掛けしました。本年は、当初から協議会と調整を図りながら、スムーズな運営に取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

副会長 寺田 公子

去る11月10日、八代協議会のOB会を開催しました。4年前のコロナ禍で送別会もできないままに退任された方々を中心に、平成から令和に

変わる時代を共に過ごした方々が28名参加されました。皆さん元気で再会できたことを喜び合い、思い出話は尽きませんでした。今回参加できなかった方からもたくさんのメッセージが寄せられ、改めて八代協議会の結びつきを強く感じました。

退任後も多方面で活躍される先輩方からたくさんの力をいただきました。頑張り背中を押していただきました。本年もどうぞよろしくお願ひします。

副会長 中原 紀子

昨年、研修で訪れた菊池恵楓園歴史資料館で展示物から伝わる想いを感じ、入所者の歴史を知ることがより良い社会を作ることにつながり、生きてきた意味になるという言葉が胸に残りました。

ハンセン病の人権教室で6年生が「正しい知識を持つていたらもっと早く差別がなくなっていたのでは。これから正しい知識を持つていうことを大切にしたい」と発表したことを思い、私たちの活動が少しづつ広まって大きな輪になることを信じて、今年も頑張りましょう。

男女共同参画委員長 山内 郁子
「あけまして、おめでとうございます。」

新しい年を迎え「今年は、どんな年になるだろう」と期待し、「いや、どんな年にしていこう」と考えながら、日々を過ごしています。

昨年新しい活動も取り入れ、充実した活動ができました。

中でも、全員で取り組んだ「東陽町文化の祭典の啓発劇」は、充実感・達成感を委員全員で味わうことができました。

今年もそのような活動ができたらいと思ひます。

皆さん、元気に楽しく、委員会活動に取り組んでいきましょう。

こども人権委員長 久保 明博

明けましておめでとうございます。昨年は、人権教室をはじめ、中学生人権作文コンテスト、「人権の花」運動など、皆様のご協力のおかげで大変充実した活動が展開できました。ありがとうございます。

今年も、お互いに研鑽を積みながら、こどもたちの笑顔がなお一層輝く取り組みを工夫していけたらと思

います。どうぞよろしくお願いいたします。

高齢者・障がい者人権

委員長 中津 謙一

新春を寿ぐ気持ちが悪くなるのはなぜだろう。

この原稿を書いている十二月中旬、未だにウクライナやパレスチナ自治区ガザで続く『戦争』により、一般市民が巻き添えになり、死亡したり傷を負ったりしている。戦争は最大の人権侵害であることは明白である。特に画面に出てくる泣き叫ぶ子どもやけがをしている子どもの姿。我が子、わが孫だったらと心を痛めている。戦争反対。絶対反対。みんな平和に暮らしたいと願っているのである。

北部委員長 竹村 博文

あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年も宜しくお願い申し上げます。

昨年は、コロナも鎮静化し、各委員会も活発な啓発活動ができた一年ではなかったかと思えます。

国内での事件を振り返ってみると施設での入所者への虐待、幼いこ

もへ親からの虐待、高齢者への子からの虐待、色々な事件が多様化する中で私たちが人権を再認識させられた一年でもありました。海外に目を向けてみると戦争による連日の人権無視の戦いが続いています。今年も啓発活動に力を入れて、少しでも人権に対する住民の認識が深まるように頑張っていきたいと思います。温暖化による環境悪化の中ではありますが、健康に留意され委員の皆様が元気に過ごされることを祈念致します。



南部委員長 溝下 博行

明けましておめでとうございます。昨年は久しぶりに研修会と懇親会を開催することができ、とても有意義な一年でした。

本年も昨年同様がんばりますのでご指導ご協力をお願いします。

皆さん、健康と元気が一番です。お互いに体に気をつけて活動して

いければと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 山田 健二

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、私の見通しの甘さから、委員の皆様が制限される事態を招いてしまい、大変ご迷惑をおかけしました。今年は事前に見通しを立て、各委員会の活動が着実に展開していけるよう、相談しながら進めていきたいと思えます。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、精進したいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

企画担当委員 今井 晃

新年あけましておめでとうございます。

辰年生まれの私は、令和六年年男になります。本年は、健康に留意しながら、無事一年何事もなく過ごせるよう願っているところです。

また八代協議会では、企画担当として各委員長と協力し、連絡調整を進めていきたいと思っています。

私事では、趣味の家庭菜園野菜の

収穫量向上と、ジョギングのタイム短縮を目標に一年間努力していきたくと考えています。

会計担当委員 水本 和博

漂流と難破続きの私の人生ながら、何とか2024年の港まで到着しました。歳を重ねる毎に穏やかな日々が待っているものとはかり思っていました。中々そうもいきません。

昨年は、戦争の話ばかり耳にする毎日をごさしました。最大の人権侵害である戦争が、リアルタイムで日常生活に入り込みました。

また、ついこの前初めて聞いた様な気がする「生成AI」とやらは一挙に実用に移り、とは言っても、その弊害が議論され心配は尽きないようですが・・・。

私など、こんな巷の風と時の流れに押し潰されそうです。それでも自分のわずかな感受力と鈍感力を駆使し、風に吹っ飛ばされず、時の狭間にも埋もれず、希望だけは持ちながら「生きていく実感」を2024年という新たなページの中に刻みたいと思えます。皆様にとりまして、良い一年となりますように!!

『前期委員研修会（菊池恵楓園視察研修）』
 撮影「国立療養所菊池恵楓園社会交流会館収蔵資料」



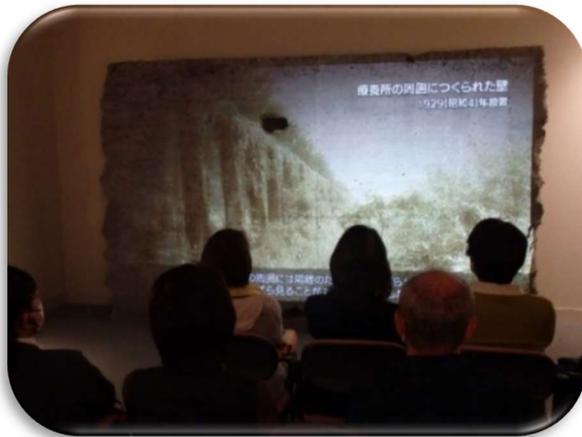
施設ガイダンス映像

高年齢・障がい者人権委員長
 中津 謙一

10月31日(火)八代協議会の前期委員研修会として、菊池恵楓園を訪れました。事務局に音頭をとっていただき、28名の委員で参加できたことは、一緒に行動することで絆も深まり喜ばしいことでした。当日は好天に恵まれ、水俣と八代から2台の中型バスで目的地を目指しました。

初めて来園された方は、「整備されて広いですね。」とおっしゃる。素直な感想でしょうが、入所者の方々はここから出ることができなかったという現実を知る時、隔離の厳しさを感じていただけるのではないのでしょうか。コロナ禍により、園内の施設見学や入所者自治会の方から話を聞くことは未だできずに残念です。その代わりに、新しくなった歴史資料館をじっくり見学することができました。ガイダンス映像を見て学び、様々な展示物や年表、資料からハンセン病問題の根底にあるもの、その解決を目指す教訓などを知ることができました。正しく知ることとは大切です。正しく知ったことを周囲の人々へ伝えていく。我々、人権擁護委員は、さまざまな偏見や差別に気づく目を持つ必要があります。研修会で学んだことを、私達人一人一人が今後の人権啓発活動に生かしていくべきです。

最後に、歴史資料館のコンセプトは「あなたは私、私はあなた」です。見学した者として、自分なりの答えを持ちたいと思います。



(右)施設ガイダンス映像
療養所の周囲につくられた壁



菊池医療刑務所の鉄扉



(右)生きた軌跡



菊池恵楓園社会交流会館前にて

東陽町文化の祭典

八代市 奥村 留美子

人権擁護委員に就いて数か月、初めて尽くしの会議や活動は緊張することばかりでした。その最たるものが、東陽町文化の祭典における劇「SDGsと人権」の上演でした。わずかな打ち合わせと準備。リハーサルでは、劇そのものより小道具の出し入れや時間の遣り繰りに右往左往。幾ばくかの不安がよぎったのは、初心者の私だけではなかったように思います。

本番当日、会場の東陽町スポーツセンターには、多くの参加者とともに丹精込めた出品作品が目を引きました。伝統芸能を熱演した東陽小学校のこどもたちの少し後にいよいよ出番。不思議なことに、山内委員長のナレーションも副委員長が奏でるBGMのピアノ音も委員一人ひとりの台詞もしっかり聴き取ることができました。全員が黒子さながらに舞台を造り替えていく姿も印象的でした。

「人権」と「SDGs」という待った無しの重大なテーマとこれを何とか

- ・男女共同参画委員会による『SDGsと人権』劇上演(右)
- ・ハンセン病問題啓発パネル展(下)



伝えたという男女委員会の気持ち、劇を通して表現できたならば大変幸いなことです。



「人権の花」運動終了式 八代市立千丁小学校

八代市 久保 明博

「人権の花が一つ一つ違うように、私たちも顔や性格、一人一人違うけど、お互いを認め合っていこうと心に決めました。」

児童代表の挨拶が終わると、体育館中に、大きな拍手が響き渡りました。

11月28日(火)「人権の花」運動終了式が、学校や八代市、法務局、人権擁護委員関係者らと、6年生75名が参加して開催されました。

運営委員会の児童が進行する形で行われ、挨拶や記念品の贈呈が終わった後、プランターへの土入れをしたり、種を植え付けたりした様子を記録したスライドで、この半年間の活動を振り返りました。

「命の大切さを伝えよう、そして、いじめや差別のない社会を一緒につくっていこう」が「人権の花」運動の趣旨です。千丁小学校の児童が育てた新しい種が、次の学校へと引き継がれていくことを確認し、喜びと感動を体験した式典となりました。

(この様子は、当日の夕方、NHKのテレビで放映されました。)

千丁小学校人権の花運動 終了式と種まきの様子



「人権の花」運動 芦北町立内野小学校

芦北町 立岩 登紀子

「人権の花」運動終了式が11月29日(水)に内野小学校で岩田教育長、堤八代支局長、総務課職員、地区担

当委員出席の下実施されました。

野田校長から「皆で協力して水撒きをして学校中にきれいな花を咲かせました。この花の種を内野校区560世帯に配ります。全部の家庭に届けられるように、頑張ってくださいませよう。」と、岩田教育長からも「花を咲かせ命の大切さとやさしい心を学び、それを地域の人達に花の種とともに伝えてほしいです。」と挨拶がありました。その後、児童代表に感謝状と人権ぬいぐるみ、防犯ブザーの贈呈がありました。

児童代表からは「花を育てることで、たくさんの方が咲きました。美しい心、思いやり、大事に育てるという心の花です。地域の方へのメッセージには、心にも花が芽生えますようにと書き、花の種と一緒に配ります。」と挨拶がありました。また、各学年も「人権の花」運動を実行し思ったことを大きな声で発表しました。

最後に、地区担当委員の「しあわせのバケツ」という絵本の読み聞かせは「人権の花」運動を通して培われたこどもたちの心へ沁み込むようでした。

全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会

熊本地方務局八代支局管内関係者

- | | | | |
|------|-------------|----|-------|
| ◇優秀賞 | 八代市立第八中学校2年 | 春崎 | 菜々子さん |
| | 熊本県立八代中学校1年 | 澤村 | 実空さん |
| ◇奨励賞 | 熊本県立八代中学校3年 | 福山 | 一華さん |

全国中学生作文コンテストを終えて

こども人権委員長 久保 明博

昨年度より、働き方改革の流れから学校からの作品提出が「制限なし」となりましたが、中学校現場の先生方にまずは読んでいただき、数編提出いただくよう郡市校長会や教育事務所等で、丁寧に説明を行いました。

その結果、八代協議会管内26校（特別支援学校を除く全ての学校）から3319点の応募があり、そのうち126点が当協議会に提出されました。予備審査会議で、今年は予備審査を行わず全作品を審査対象とすることになり、9月21日（木）に第一次審査を開催しました。9月27日（金）その中から選出した22作品を第2次審査にかけ、その結果3作品を選び出し、県大会へ出品しました。

今回の審査を通じて感じたことは、一つは、いじめ、障がい者、ジェンダー、戦争、SNS、家族、水俣病など、テーマの多様性が見られたこと。そして、もう一つは、素晴らしい感性を持った中学生たちが、今の世の中で起きている様々な人権問題に気づき、悩み、もがいている現状に改めて私たち大人が敏感にならなくてはならないことを感じました。

表現方法や作文枚数等については、課題があるものも散見されましたが、中学生が思う存分本音で語ることができるこのコンテストの趣旨をこれからも大事にするとともに、私たち人権擁護委員も、互いに研鑽に励み、人権感覚を磨いて、中学生たちの不安や期待に寄り添っていかねばならないと思いました。

最後に、学校関係者はもとより今回の審査にご協力いただいたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

雑学コーナー

「酒は百薬の長?」

『酒は百薬の長』という言葉は、漢書『食貨志』にあったものを吉田兼好が『徒然草』で定着させたのだとか。ところが、この言葉には続きがあり、「百薬の長とはいへど、よろづの病は酒よりこそ起れ」となっているそうです。

とは言え、健康効果については否定できないようです。勿論、やはり適量が条件となっていて、厚生労働省が健康増進対策として展開している「健康日本21」が示す一日当たりの飲酒は、ビールではロング缶1本、日本酒では1合、焼酎ではグラス2分の1程度となっているらしく、「ぜんぜん足りない!!」と思われる方が大半ではないかと思えます。

既に新年会も終えられた時期ですが、今後の飲酒の機会には都合の悪い話題になってしまいました。

愛飲家の皆さんには新年早々お許しください。(大)

※参考文献

「生活習慣病の名医が教える

病気になるらないお酒の飲み方」

監修 杉岡充爾(株式会社永岡書店)

協議会からのお知らせ

▽後期委員研修会の

日時 2月16日(金)

13時00分受付開始

13時30分開会

場所 お祭りでんでん館

八代支局からのお知らせ

○緊急連絡網の確認について

各班の責任者は、震度5以上の地震や大規模な災害等があった場合、本人及び家族の安否、建物等の被害状況について班の委員全てに速やかに連絡してください。

○交通法規遵守及び

交通事故の防止について

交通法規遵守及び交通事故の防止に努めていただきますよう、今年もどうぞよろしく願います。

編集後記

今年は“ たつ年 ”

辰年は陽の気で動いて万物が振動するの活気旺盛になって大きく成長、形が整う年だといわれているそうです。皆さんにとって今年一年健やかで良い年でありますように。(小)

新年明けましておめでとうございます。ほどよい前進で頑張りたいと思います。みなさん今年もどうぞよろしく願います。(藤)

昨年から人権擁護委員の一員になり、同時に広報編集委員も受ける事に、私で大丈夫?と少々不安な思いでした。委員会に参加しながら、優しい先輩方に支えられ楽しくやれました。今年も楽しくをモットーに頑張りたいと思います。(原)

今年も皆さんに興味を持って読んで頂けるような広報紙づくりをめざします。「夢風船」の如く、皆さんの夢が大きく膨らむ一年になりますように! 歩みは着実に!(大)

表紙写真紹介

輝かしい初日の出を捉えたこの写真は、静岡県湖西市から撮影されたものです。

提供者 小薮裕子広報編集委員

令和5年度 啓発活動重点目標

～人権啓発キャッチコピー～

「誰か」のこと じゃない

八代人権擁護委員協議会



人権イメージキャラクター 八代KENまもる君



人権イメージキャラクター 八代KENあみちゃん

「自問自答」

「おはようございます。」早朝、地元小学校のあいさつ運動で聴こえてくるこども達の声。

大きい声で元気に挨拶する子。黙って俯いたまま無言の子。

「なぜあいさつをしなくてはならないの？」黙って俯いていたことから問い掛けられたように感じました。

どうしてだろう？本当のところおじさんにも分からない。そこで調べてみると、

『私はあなたに心を開いていますよ』、『私はあなたの心を開き、あなたの心に近づきたいの』だからあいさつしているの。

「おはよう」、「いただきます」、「ごちそうさま」、「いってきます」、「おかえり」、「おつかれさま」等々、一日のあいさつ、さて妻は心を開いてくれるのか？

明日聴いてみよう。「心開いてくれる？」

私は、いつも心開いているんですが・・・。(大)